

【Vol.4 「君のパワーが世界を動かす。」第20回全日本選手権 通信】

【体験レポート】学生に、パワリフ選手と同じ目線で八王子の街を車いすしてもらった。

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟（理事長：吉田 進 以下「当連盟」）は、「第20回全日本パラ・パワーリフティング 国際招待選手権大会（以下、全日本選手権）」を2020年2月1日（土）～2月2日（日）に開催いたします。開催にあたり、昨年に引き続き今年も、日本工学院八王子専門学校（校長：前野 一夫 以下、「同校」）と全面的なコラボレーションを展開していきます。

いつも歩いている八王子の街。皆さんは車いすに乗って巡って見たことがあるだろうか？

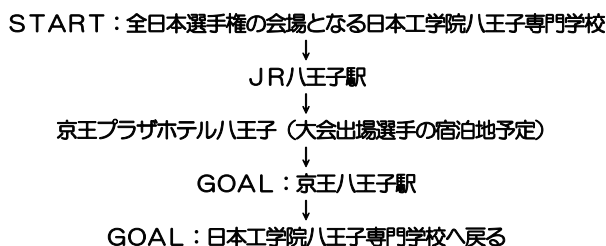
「**見ているだけじゃ始まらない!**」と、同校のスポーツタイムプロジェクトより威勢の良い8名の生徒が名乗りを上げてくれた。ちなみに全員車いす体験は今日が初めて。

現役パワリフ選手である佐野選手（車いすユーザー）と共に、同校から目指すは八王子の街だ。

メンバー紹介



今回の「車いすしてみる」ルート



それでは実際にどんな様子で車いすったのか、見てみよう。



【連盟広報】「本日はよろしくお願いたします！皆さんには当日の大会運営だけではなく、パラ・パワーリフティングや、共生社会への理解を深めてもらいたいと思います。それでは早速出発ですが、車いすに乗りた方へ」

【学生（以下、学）】「はいっ！」
おお～！なんとも積極的な学生のみんな！
感動しながら、一行は学校を飛び出し八王子の街へ。
しかし学生を待ち受けていたのは試練の連続であった…



第1の試練「バスへ、車いすする。」

【石田】「坂道…きつい！ぐぬぬ…！」
御覧の通り、石田君の顔が真っ赤である。



続く佐野選手は涼しい顔で乗り降り。
下り坂だって前車輪を浮かせてスーッと下車。
【佐野選手（以下、佐野）】「余裕っすね」



【石田】「まじきつい～！」
おいおい、まだ出発して10分も経っていないぞ。
足元のブレーキロックもかけて安全よし！
バスでJR八王子駅へ出発。

ちなみに、全日本選手権当日は、車いす乗車可能なバスも本数を多くして運行予定。車いすユーザーもぜひ大会に遊びに来てほしい！



✓第1チェックポイント 京王プラザホテル八王子 到着

にぎやかな八王子の街を車いすり、やっと到着。
みんなの顔からは多少の疲労がうかがえる。
この先大丈夫なのか…！？



ちなみにホテル前の段差にはきちんと小さな坂道が。
【石田】「これ助かる～」



さあ選手交代、初めての車いすに多少興奮気味の横山君が京王八王子駅へと繰り出す。

【横山】「やべえ～！まっすぐ進まね～！！」

第2の試練

「エレベーターへ、車いすする。」

今回の体験で幾度も見られた学生が困った場面、それがエレベーターだ。限られた空間にスペースを見つけ、スネークインする技術は一朝一夕で得られるものではない。

例①

【横山】「(エレベーター内を映し出したモニターを見て) ひえ～めっちゃ人いる～頼むからみんな降りてくれ。」

例②

【佐野】「(エレベーターが開き) じゃあ、安代くん、先降りて」

【安代】「えっ！…(どうやって…?) やってみます！」

ここから幾度とない切り返しを行い、安代くんがエレベーター地獄から解放されたかは言うまでもないだろう。



【佐野】「でもみんな初めてにしてはとても飲み込みが早い。あと、八王子の街は整備されているからかなり便利だと思う。」との佐野選手からお褒めの言葉をいただいた！

ちなみに八王子の街にはこのような車いすが2台も入る十分なスペースを確保した、バリアフリー仕様のエレベーターが多く見られた。さすがは「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」である。

参考：八王子市 公式HP | ブランドメッセージ「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/003/002/p024573.html>



ブランドメッセージロゴマーク



✓第2チェックポイント 京王八王子駅 到着

大会を見に来る方の中には、当駅を利用する車いすユーザーもいるのでは、ということでこちらを第2チェックポイントに選出。

到着したところで、そろそろあたりも暗くなってきたし、学校に帰るとしましょう。



選手交代、安代、いきま～す！と余裕もつかの間。



第3の試練 「坂道を、車いすする。」

駅前には親切にも階段横に坂道が。ただ初めて車いすしてみた安代君の腕が悲鳴を上げる！

この日佐野選手が早すぎてついていけない学生が続出。

学校に帰ってきて坂道地獄は続く。

同校は山の上に建てられているため、アップダウンの激しさから坂道や階段が多い造りとなっている。



【安部】「さすがに自力は無理だ…」

と、阿部君もギブアップ。みんなが背中を押してくれ、やっとの思いで登頂(?)。山口くんはバトンタッチし、ゴール。

みんな、本当にお疲れ様でした。

車いすってみて、どうだった？

【安代】「押しても押しても車いすが進まなくて…運動量と全然比例しなかったですね…」

【山口】「ちょっとした道の隙間、はまりそうで怖かったです。」

【佐野】「前車輪がよくはまって身動きが取れなくなっちゃうんだよ。」

【伊藤】「ショッピングモールのエレベーターを通じて京王八王子駅まで、結構時間がかかったことに驚きました。車いすユーザーの方だと、駅に隣接したエレベーターが無いとかなり不便なんですね。」

【佐野】「そうだね。ただ都内になると、もっと地下に潜り込んだりしないといけなくて、エレベーターがない場面もあったりするから、いちいち(階段脇の)昇降機を使うために駅員さん呼んで…その点八王子の街は、広めのエレベーターもたくさんあってかなり便利。」



【内田】「なるほど。普段父と車いすですいろいろなところに出かけるけど、今回カメラを回しながらわずかな段差などに注目することで、いつもは気づかない大変さに気づきました。」

【杉原】「歩きスマホしていると、視界が狭まって車いすが通りづらくなってしまうことも発見でしたね。」

【一同】「うんうん。」



【佐野】「今回の全日本選手権は、恐らく大会に惜しくも出場出来なかった選手がたくさん観戦にくるはずなんです。だから、学校の中でもたくさんサポートしてあげて欲しい。」

【三樹先生】「やっぱり同校の通路は狭いですよね…それが課題だなあ」

【佐】「でもそれって、どうにでもなるんですよ。今日参加してくれたみんなは車いすユーザーの気持ちを体感してくれたから、当日活躍してくれるはず。」

こんな感じで、学生のみannaには、普段見えない景色が見えたようだ。全ての道をバリアフリーにすることは難しいが、人の心でいくらでも共生社会は作り出せる。全日本選手権でも、選手の試技に負けぬ、学生のみannaの活躍を期待しているぞ！



おまけ 佐野選手の筋肉に群がる学生たち

【学】「こんな腕してたらそりゃ(きつい道でも)大丈夫だわ！」

パラ・パワーリフティング選手のすごさを思い知らされた学生たちなのでした。

【大会概要】

名 称：第20回全日本パラ・パワーリフティング 国際招待選手権大会
日 時：2020年2月1日(土)～2月2日(日)
両日とも競技は11時スタート予定(10:30開会式)
場 所：日本工学院八王子専門学校 片柳記念ホール
入 場：無料
主 催・主 管：特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟
特 別 共 催：日本工学院八王子専門学校
共 催：東京都
後 援：八王子市、八王子市教育委員会、公益社団法人八王子観光コンベンション協会
参 加 国：台湾、ラオス、韓国、日本(予定)
公 認：ワールドパラパワーリフティング
連盟スポンサー：学校法人片柳学園、株式会社乃村工藝社、パナソニック株式会社、学校法人国際学園
協 力：公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

※今後大会概要は更新の可能性がございます。

【連盟オウンドメディア】

本大会に関する情報や、出場選手、今後の同校との取り組みにおける情報は、本リリース【「君のパワーが世界を動かす。」第20回全日本選手権大会 通信】や下記SNSをもってお伝えして参ります。

▼連盟HP <http://jppf.jp/index>

▼SNS
(Vol.1よりアーカイブ)



公式情報配信



#いきみ顔選手権

<本件に関するお問い合わせ先>

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟 事務局 吉田彰子

TEL :03-6229-5423 eメール : 596yoshida@gmail.com